

## 事業名 淡路景観園芸学校整備事業

花と緑のまちづくりを实践できる人材を養成する学校を開設するため、環境保全に積極的に取り組んだ事業

**受賞機関** 兵庫県まちづくり部公園緑地課、兵庫県まちづくり部営繕課、兵庫県まちづくり部設備課、兵庫県土地開発公社

**事業実施期間** 平成9年5月24日～平成11年3月31日

**事業費** 8,500百万円



多目的ホール周辺

### 技術等の特徴と評価

整備にあたり自然エネルギーの再生循環等の取り組み、斜面地形を利用した階段状の施設配置等新しい技術が導入され、人と自然の共生を身近に感じることができる。この学校は園芸の技術発信となり環境保全、景観に配慮した新しい型の学校である。利用者や地域の人々が、こうした取り組みに触れたり参加できることが評価できる。

### 事業の概要と効果

淡路島内で初めての大学レベルの研究教育施設で、棚や塀のない13haのキャンパスは名実ともにオープンスペースであり、誰もが何時でも自由に立ち入り花壇や植栽に身近に接することができ、人と自然の共生を身近に感じることのできる環境保全に配慮した施設である。

特に、あらゆる人が快適に利用できるユニバーサルデザインの思想を具現化した園芸療法ガーデンや、都市空間の緑化手法とし注目されている屋上緑化展示ゾーンは国内では初めての本格的な施設である。

効果として、基盤整備の造成工事ではできる限り現況の地形や植生を活かし、既存の山林や池を保全し、斜面



階段状に設置した「学生寮」



透水性舗装と芝生ブロック駐車場



本館周辺

地形を階段型・棚田型に造成して大規模な地形の改変を避けた。

また、自然エネルギーの再生循環に取り組み、キャンパスで発生する全ての汚水を一ヶ所に集約して浄化処理水を植栽地の灌漑用水としたり、太陽エネルギーを自動散水のコントロールや水循環装置の動力源として利用している。

さらに、剪定や除草により発生する植物系廃材を堆肥材料として利用するための作業場を設置している。